

賛美のチカラ ～天国のリハーサル～

ゴスペルシンガー
PAZ CHURCH 伝道師 塩谷 達也



ハレルヤ!

皆さん、こんにちは、塩谷達也です。私はプロのシンガーとしてデビューし活動していた時にイエスさまに出会い、それ以来、賛美のミニストリーに関わらせて頂いています。ゴスペルクワイアを用いて25年間伝道し続け、ワーシップで教会を励ましてきました。

2年前に担当させて頂いた「賛美奉仕と音楽伝道の力」のクラスを、9月に再び講義させて頂くことになりました。このクラスでは、皆さんが毎週礼拝で歌われている賛美の持っているチカラを、みことばと私の25年の賛美ミニストリーの経験を通して頂いた恵みの証しを通して、皆さんと分かち合っていきます。賛美の中で私たちは解放され、主から語りかけられ、ビジョンを受け取り、回復されるのです。また、全く主を知らない人たちが、時に賛美の中で聖霊さまに触れられ、涙を流すのを見て来ました。賛美は、天を運び、福音が語られる前に心の畑を耕し、その道備えをします。クリスチャン文化が根付いていないこの国における賛美の重要性は、大きいと考えています。

現在、私の周りで起こっている素晴らしい神さまのみわざを少しだけ紹介したいと思います。

私は、青山学院大学で、コンテンポラリー礼拝のワーシップディレクターをさせて頂いて7年目になり



イースターゴスペル礼拝にて(右端が筆者)

ます。この礼拝はとてもユニークな試みです。説教以外、賛美、司会、祈り、聖書朗読、PA、照明、案内、その全てを学生の手で作り上げていく礼拝になります。私は、学生のコーディネーターや、すべての学生奉仕者と共に、礼拝のディレクターとして働いて来ました。

現在、50人を超える超教派の学生信徒が奉仕者としてチームに参加し、その中には、未信者の学生もいます。教派教団が違うメンバー同士、信仰を持っていない者もいる中で、聖霊さまが働いてくださり、ただキリストとワーシップを通して、彼らの中に一致が生まれていくのを見て来ました。

礼拝に集ってくる学生の多くは未信者であり、毎週が伝道礼拝とも言えます。この夕礼拝チームの中から毎年献身者が起こされていることも感謝しています。

更に、「ワーシップミュージシャン養成講座」というものを大学が開講して6年目となり、私が講師をさせて頂いています。これは、主に召し出された学生たちを賛美奉仕者として、聖書と実践を通して一年間訓練をし、即戦力の賛美奉仕者として、彼らの母教会を祝福することも視野に入れた働きです。一年間で大きく変えられていく学生たちの姿を見て、私自身が主に学ばされています。

また、今年のイースターには、PAZ CHURCHにおいてゴスペル礼拝がトライアルで持たれました。ゴスペルブームが25年前に日本に起こって以来、今に至るまで、ゴスペルにつながってきた多くの仲間たちをキリストの体として受け入れ、育み、教え、共に歩いていく、新しい皮袋の教会開拓の試みとなります。現在、チーム形成や準備の段階ですが、神さまの時に始められることを祈って頂ければ幸いです。

公開講座

『賛美奉仕と音楽伝道の力』

講師：塩谷 達也
日時：9月3日(火)、17日(火) 全2回
時間：19:00～21:00
会場：JTJ教室 受講料 無料
教室での対面かZoomでの参加が選べます。
お申込はJTJホームページより

INFORMATION

インフォメーション



トピックス Topics

●夏のホームカミングデー

昨年に引き続き今年も、夏にホームカミングデーを開催します。

日程：8/12(月・休)～8/14(水) 2泊3日

会場：日光オーリーブの里

*詳しくは同封のチラシをご覧ください。

●JTJ学生交流サークルのご案内

マナカフェ 対面/オンライン (Zoom)

マナトモ(学びの友)と学びの進捗や感想を分かち合う。共に祈り、励まし合う。

*次回の開催予定は、裏面の「マナカフェ開催予定」をご覧ください。

学びの進捗報告会 LINE

毎週末に、各自のこの1週間の学びを振り返り、次の1週間の目標・予定をLINEグループ内で報告し合う。(1グループ3～4名)

*学びの進捗報告会入会の詳しい資料をご希望の方は、jtj@jesustojapan.comまでメールをお送りください。件名に「学びの進捗報告会入会希望」とお書きください。

JPG: JTJ Prayer Group (プレイヤーグループ) オンライン (Google Meet)

各地に散らばる通信生同士がつながる、対話ベースの祈りの小グループ。

月に1回1時間程、互いの言葉に耳を傾け祈り合う。

*お申込はメールでjtj@jesustojapan.comまで。

件名に「JPG参加希望」とお書きください。

JTJオンライン学生の集い オンライン (Zoom)

全国各地、海外にお住まいのJTJ学生が集っています。賛美や近況報告、デボーション、お祈りなどを行います。日程は、第1、3週土曜日の午前10時半よりお昼ころまでです。

*参加申込はメールで。

junji_kobayashi@hotmail.com (世話役: 小林)

●「学長?塾」のご案内

オンライン (Zoom) 開催。重田学長が、JTJ在学生/卒業生と共に神さまを知る時をもち、豊かなクリスチャンライフを送るために、皆様と祈り、交流します。

毎月 第2土曜日 20:00～21:00 (在学生の部)

毎月 第3土曜日 20:00～21:00 (卒業生の部)

*詳細、申し込みはJTJホームページの中の「学生・卒業生ページ」をご覧ください。



↑ ハウスチャーチ便り 第49号

茅ヶ崎・横浜ハウスチャーチ発 絵本

2010年度 信徒牧師科卒業 ひぐち 紀
motonaka522573@gmail.com

さて、主の天使はフィリポに『ここをたつて南に向かい、エルサレムからガザへ下る道に行け』と言った。そこは寂しい道である。フィリポはすぐ出かけて行った。(使徒言行録 8章 26～27節)

今回は、ハウスチャーチのつながりの中で出版された絵本を紹介しします。上の御言葉をモチーフにしたお話で、第2回絵本出版賞ストーリー部門最優秀賞をいただきました。ちょうどその時、ハウスチャーチの仲間の娘さん(服部喜望教会副牧師: やました愛さん)がイラストを伝道に生かしていることを知り、素敵なお話を描いていただくことになりました。導きに感謝しています。



★JTJ宣教神学校ホームページ

https://jesustojapan.com
スクーリング、公開講座等のお申し込みがこちらからできます。学生・卒業生用ページを設けています。



★LINE公式アカウント

公開講座、Zoomセミナーなどの案内をお伝えしていきます。どなたでも登録できます。



★LINE公式アカウント (学生専用)

講義日程の変更やスクーリングなどの案内をお伝えしていきます。



★JTJ YouTubeチャンネル



★Instagram



★学校公認TikTok

「聖書・キリスト教のここが聞きたい!」



★JTJ YouTubeの姉妹チャンネル

「ひとつぶのむぎ」



JTJ 最新の皮袋の創造をめざして

ニュース

Number 153
Jun. 2024

神の国はことばではなく力

学長 重田 稔仁

教会の不一致、不協和音はキリストの身体なる教会を分裂させ、教会から活力を奪うだけでなく、キリストの福音宣教の最大の妨げとなります。パウロが手紙を送って戒めたコリント教会は、まさにそのような分裂の危機にありました。

コリント教会は、ユダヤ教律法主義の影響でキリストの福音理解を巡る衝突や、パウロやペテロ、アプロといった有力な指導者の追従者たちの派閥間で、紛争が絶えませんでした。パウロは、そんなコリント教会の状況を憂えて手紙をしたためたのです。しかし自分たちを心配する霊的父のような存在のパウロを、コリント教会の紛争当事者たちは軽んじたのです。

理由は、パウロがコリントに向かないで、彼の代理人としてテモテを送ってメッセージを届けさせたことで、コリント教会の指導者たちは、パウロは面と向かって意見できない臆病者と誤解したのです。そしてパウロを口先だけの、力ない指導者だとみくびったのです。

そんなコリント教会の人々に対して、パウロが語ったのが次のことばです。

「神の国はことばではなく、力である」(1コリント 4:20)

ここでパウロがメッセージしている「神の国」とは、「心の目」「魂の目」によって洞察するような観念的な概念ではなく、実際に人を救い、その生き方やあり方を変革する力だと、パウロは明言しているのです。それは、人が御子イエスによって神様の愛を知り、罪を悔い改め、御子を信じる信仰によって神様の子どもたちとして、神の国に生きるために必要不可欠な力です。すなわち罪の滅びから救い出された神様の子どもたちが神の国の住人に相応しい生き方ができるように、その人生を変え続ける力です。

聖書は、この神の国の力について次のように証しています。

①この力は御霊が降るとき、イエス様を信じる者に与えられる。「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土

で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」(使徒言行録 1:8 新共同訳)

②それは神様の力と同一

「神は、この力をキリストに働かせて、キリストを死者の中から復活させ、天において御自分の右の座に着かせ、すべての支配、権威、勢力、主権の上に置き、今の世ばかりでなく、来るべき世にも唱えられるあらゆる名の上に置かれました。」(エフェソの信徒への手紙 1:20-21)

③それは福音の力

「わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです。」(ローマの信徒への手紙 1:16)

パウロは、コリント教会の指導者たちに対して「私」はこの神様の力を体験しているがあなたがたは体験しているのか?とチャレンジしたのです。

神様の力を体験すると、人の生き方、人生はどのように変えられるのか。それは、神なき者として自己愛と自己中心的に自分の欲望を満たすために生きていた人が、神様を愛する者、神様のみ顔と神様のとの交わりを慕い求める者へと作り変えられます。すなわち神様の御心を己が心として、神様のみ心が成就することを願い求めて生きようになるのです。神様の力を体験すると人は、パウロがそうであったように、神様との親密な愛の交わりと関係性を第一に生きるようになります。

キリスト教会は、神の国、神様の臨在によって、神の愛に満たされたキリストの身体なる共同体です。クリスチャンの信仰は、本来、口先だけの観念的な信仰とはなり得ないはず。私たちの信仰は、私たちのアイデンティティー、人格、生き方、人生を変革する実践的な信仰です。

JTJ宣教神学校の同窓の皆さん、御霊が与えて下さったキリスト信仰によって、神の国に生きるものとして、父、子、御霊との交わりを慕い求めつつ、共に歩んでまいりましょう!